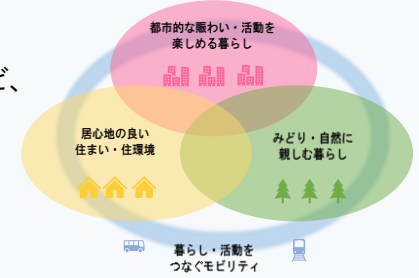


●未来の町田はどのような「まち」になっているでしょう？

2040年を見据えたとき、時間や場所にとられない新しい働き方やライフスタイルが定着し、市内で活動する人口が増えるなど、私たちの日々の暮らしや仕事のあり方は、今とは大きく異なっていることが見込まれます。

今後は自分にあった暮らしを選択できるまちが求められることになるでしょう。みんなが自分のやりたいことに気軽にアクセスでき、そして、やりたいことを実現できるそんな町田を目指していきたいと私たちは考えています。

都市づくりのマスタープランでは、単なる都心のベッドタウンではない、にぎわい・交通・みどり・住まいなどの町田のポテンシャルを活かした「思わず出歩きたくなるまち」へのビジョンを描きます。



身近なみどりを活かした健康ライフ？

仲間や家族で「みどり」や「農」に触れ、心も身体も健康的に暮らせます。

北部のみどりがすぐ近く！

みどりの豊かさは町田の強み。散策・体験を通して町田ならではの思い出を作れます。

市内で働くスペース？

まちなかのワークスペースで、川辺で、公園で、今日働く場所を自由に選べます。

居心地の良い地元らしさあふれる住宅街？

つどい・遊び場・地域活動…地域の良さを詰め込んだ住宅街。災害・環境への配慮もばっちり。

まちを元気にするモノレール？

みどりやまちがつながり新たな交流が生まれます。



公園はまちの中心地？

ミニマルシェ・子どものレッスン…みんなのやりたい・欲しいをかたちにする場所。

団地が生まれ変わる？

開かれた住宅団地は地域のハブ。団地のポテンシャルを活かして地域をつなげます。

お出かけしたくなるまち？

自動運転やMaaS※…新技術で移動のあり方が変わります。

住んで良し・訪れて良しの駅そば生活圈？

住む・仕事・買い物・憩い…やりたいことに気軽にアクセスできるまち。